

平成30年度離島漁業再生支援交付金漁業集落实績報告

令和元年5月14日

1. 対象漁業集落の概要

都道府県名：沖縄県

市町村名：宮古島市

島名：池間島

協定対象漁業集落名：池間漁業集落

協定参加世帯数：31世帯（32人）

（うち漁業世帯数：31世帯（32人））

2. 協定締結の経緯

宮古島市は八重干瀬などに代表される広大な珊瑚礁群に囲まれるとともに、島の南北に黒潮の潮流が流れるなど良好な海域環境を有しており、それらを活用した一本釣漁業、パヤオ漁業、網漁業、潜水器漁業、モズク養殖業等が営まれている。しかしながら、良好な漁場を有している一方、離島という地理的特性に起因する高コスト構造等の条件不利性などから漁業者の減少が進んでおり、この状況を放置すれば本市の漁業集落は一層衰退し、集落及び水産業が持つ多面的機能が低下することも懸念されている。

そのようなことから、漁業集落が行う漁場の生産力の向上や漁業の再生に関する実践的な取組などの活動を通じて漁業の再生を図りつつ、水産業が発揮する多面的機能の維持・増進に向け、池間集落において集落協定を締結し、離島漁業再生支援交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

3. 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

種苗放流を実施し、水産資源の維持・回復を図ることとした。また、漁業被害をもたらしているためサメ駆除を実施し、漁業被害の軽減及び安全操業を図ることとした。



種苗放流



種苗放流

(別紙2)



サメ駆除



サメ駆除

②漁業の再生に関する実践的な取組状況

シャコガイ養殖の新規着業を実施し、操業日数の増加を図ることとした。今年度は、シャコガイ稚貝の投入等を実施した。



シャコガイ養殖 稚貝投入



シャコガイ養殖 フェンス設置

4. 取組の成果

漁場の生産力の向上に関する取組においては、種苗放流により水産資源の維持・回復が見込まれ、宮古島市におけるハマフエフキ（タマン）の水揚量は、平成28年が901トン、平成29年が1,068トンとなっている。また、サメ駆除の実施により漁業被害の軽減及び安全操業の確保が図られた。

漁業の再生に関する実践的な取組については、以前から新規養殖業の着業の取り組みとしてシャコガイ養殖の着業に取り組んでおり、今年度はシャコガイ稚貝の投入等を実施した。今後は、出荷に向け取り組んでいく。